

会社説明会

— 新中期経営計画 —

2017年9月14日

 **クミアイ化学工業株式会社**

統合後新生クミカ会社情報

基本情報

会社名	クミアイ化学工業株式会社
事業内容	農薬・化成品の製造・販売、不動産 賃貸、その他（発電および売電）
証券コード	4996
上場市場	東証1部
本社所在地	東京都台東区池之端
資本金	45億円
設立	1949(昭和24)年6月 創立69年
沿革	1928(昭和3)年、柑橘同業組合開設 1949年庵原農薬株式会社を設立 1968年クミアイ化学工業株式会社に商号変更。 2017年イハラケミカル工業株式会社と合併。

企業理念

- 私たちは創造する科学を通じて「いのちと自然を守り育てる」ことをメインテーマとし、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します。

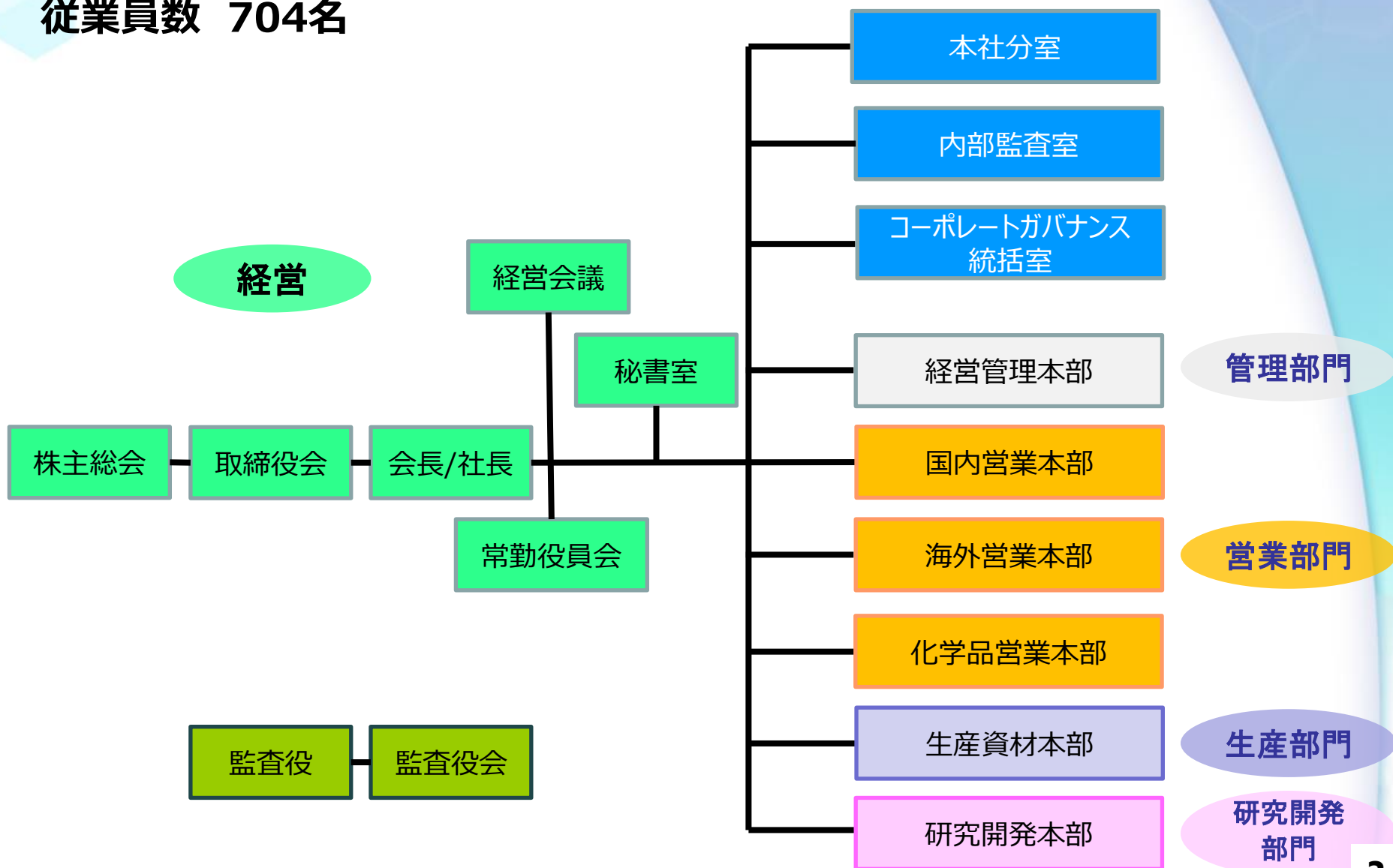
経営ビジョン

- 常に世界に目を向け、世界市場でリーダーシップをとるグローバル企業を目指す。
- 常に新しい価値を創造し、顧客のニーズと信頼にこたえる。
- 常に高い目標に挑戦し、活力溢れスピード感ある人間集団を形成する。
- 常に透明性ある企業活動を通じ、全てのステークホルダーとの調和を図る。

組織図

2017年5月1日現在

従業員数 704名



新設置部署による機能強化

ガバナンス
の強化

内部監査室

コーポレートガバナンス統括室

統合基幹業務
システムの構築

ITシステム推進部

持続的な
企業価値
の向上

経営企画部
グループ事業統括課

グループ事業
経営の強化

総務部
広報・IR課

ステークホルダーと
の対話促進

関連会社

緑：理研グリーン関連会社
赤：イハラ建成工業
紫：イハラケミカル関連会社

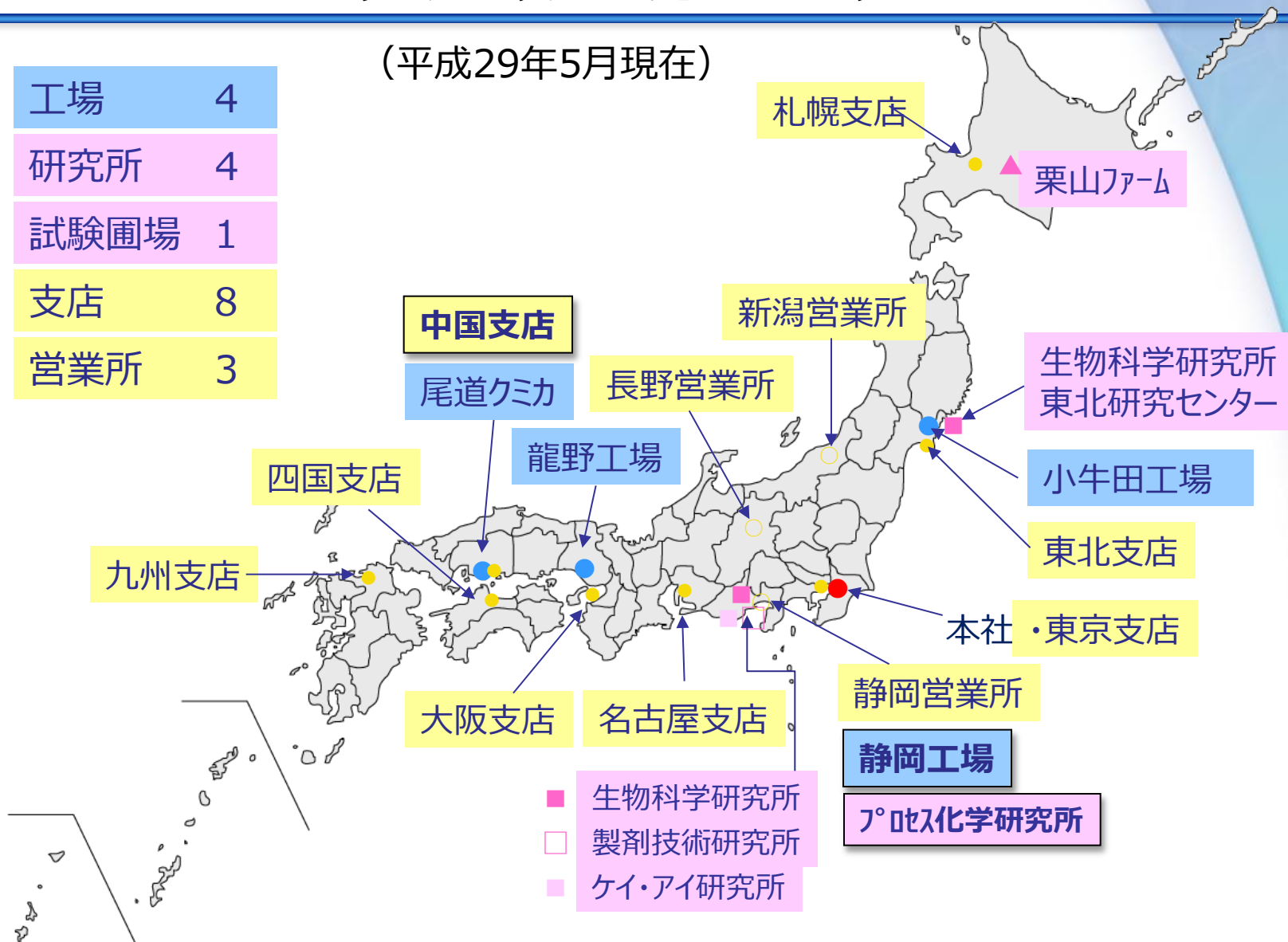


	グループ位置関係	主な事業内容	資本金(百万円)
クミアイ化学工業(株)	親会社	農薬事業・化成品事業・賃貸事業・売電事業	4,534
(株)理研グリーン	連結子会社	農薬・肥料事業・緑化資材事業・ゴルフ場管理事業・建設業等	1,102
イハラニッケイ化学工業(株)	連結子会社	農薬事業・化成品事業	780
ケイ・アイ化成(株)	連結子会社	農薬事業・化成品事業・産業用薬品事業・バイオ関連事業	600
イハラ建成工業(株)	連結子会社	建設業・発泡スチロール製造業・不動産業	461
尾道クミカ工業	連結子会社	農薬事業・化成品事業	100
良地産業(株)	連結子会社	農薬・肥料事業・食品添加物事業	90
日本印刷工業(株)	連結子会社	印刷事業	88
(株)クミカ物流	連結子会社	物流事業	62
ケイ・アイ情報システム(株)	連結子会社	情報サービス事業	50
浅田商事(株)	連結子会社	農薬・肥料事業・ゴルフ場管理事業	22
ケイ・アイ・ケミカルU.S.A	連結子会社	農薬事業・化成品事業	2百万\$
ケイ・アイ・ケミカルヨーロッパ	連結子会社	農薬事業・手数料事業	700千€
ケイ・アイ・ケミカルドブラジル	連結子会社	受託事業	31百万リアル
アイシーケイ(株)	持分法適用会社	化成品事業	50
イハラブラス	持分法適用会社	農薬事業	606百万リアル
T.J.C・ケミカル	持分法適用会社	農薬事業	60百万パーツ
上海群力	持分法適用会社	農薬事業	55百万人民币

新生クミカの研究施設・支店・工場

(平成29年5月現在)

- 工場 4
- 研究所 4
- ▲ 試験圃場 1
- 支店 8
- 営業所 3



新生クミカの海外拠点



子会社

- クミカインターナショナル
- クミカコリア
- K-IケミカルUSA (アメリカ)
- K-Iケミカルヨーロッパ (ベルギー)
- K-Iケミカル・ド・ブラジル (ブラジル)
- イハラニッケイタイランド (タイ)

関連会社

- TJCケミカル (タイ) 上海群力 (中国)
- イハラブラス (ブラジル)

試験場

- MRS (ミシシッピ)
- JAS (ニーム)

本日のアジェンダ

- I. 市場環境
- II. 2017年10月期 第3四半期実績
- III. 2017年10月期 業績予想
- IV. 新中期経営計画

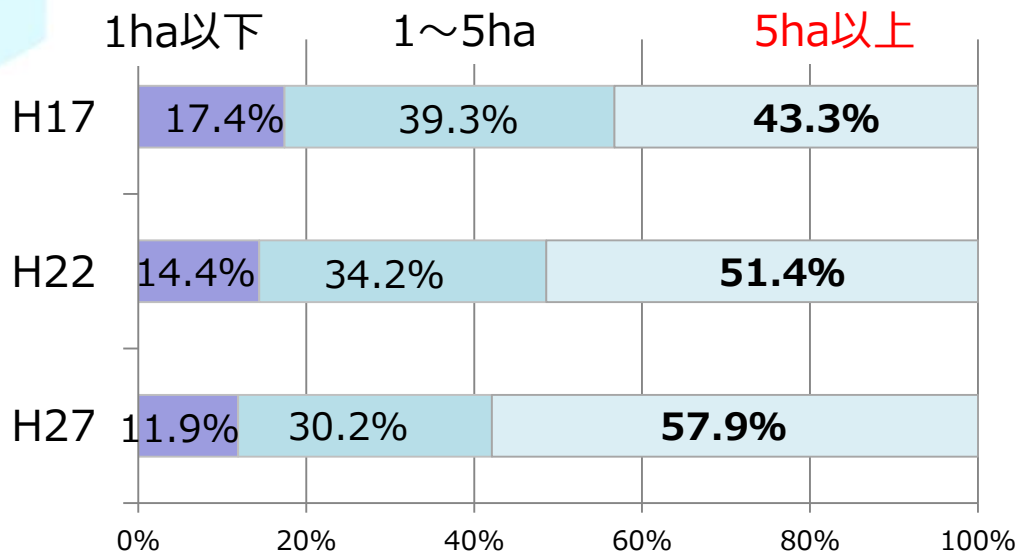
I. 市場環境

II. 2017年10月期 第3四半期実績

III. 2017年10月期 業績予想

IV. 新中期経営計画

国内農薬市場の動向

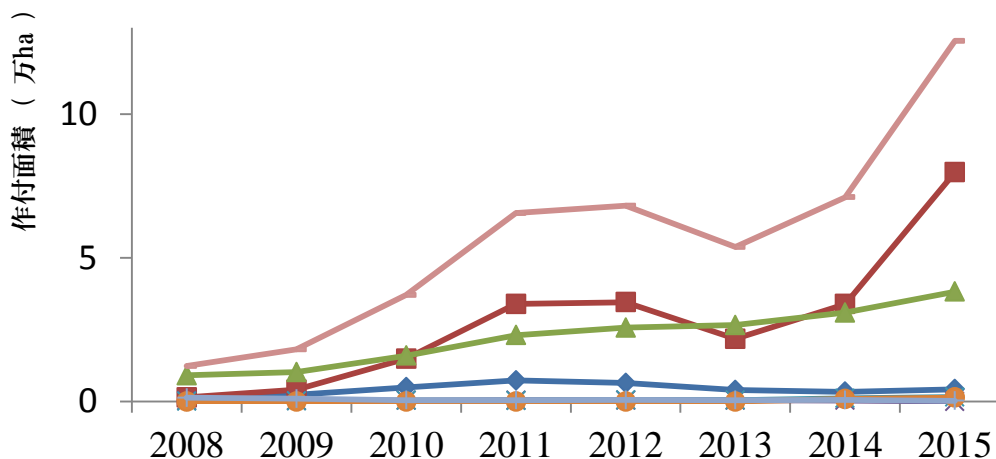


経営耕地の集約化

➤ 大型農家・農業法人の増加

➤ 新規需要米の増加
(飼料用米)

➤ 低コスト、省力化、輸出促進、流通変化

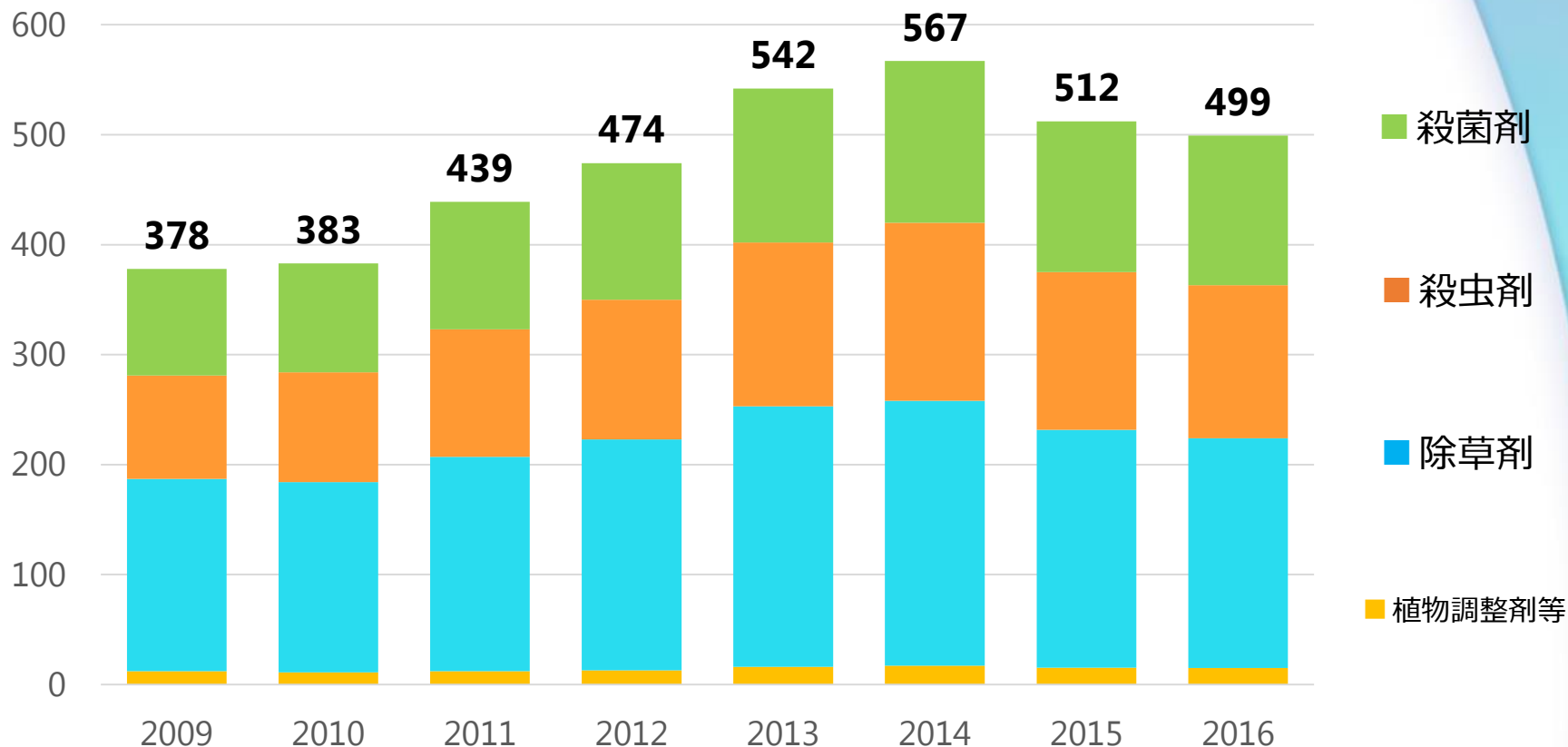


新規需要米の生産量の推移

世界の農薬市場の動向

[億ドル]

拡大基調も近年のびなやみ



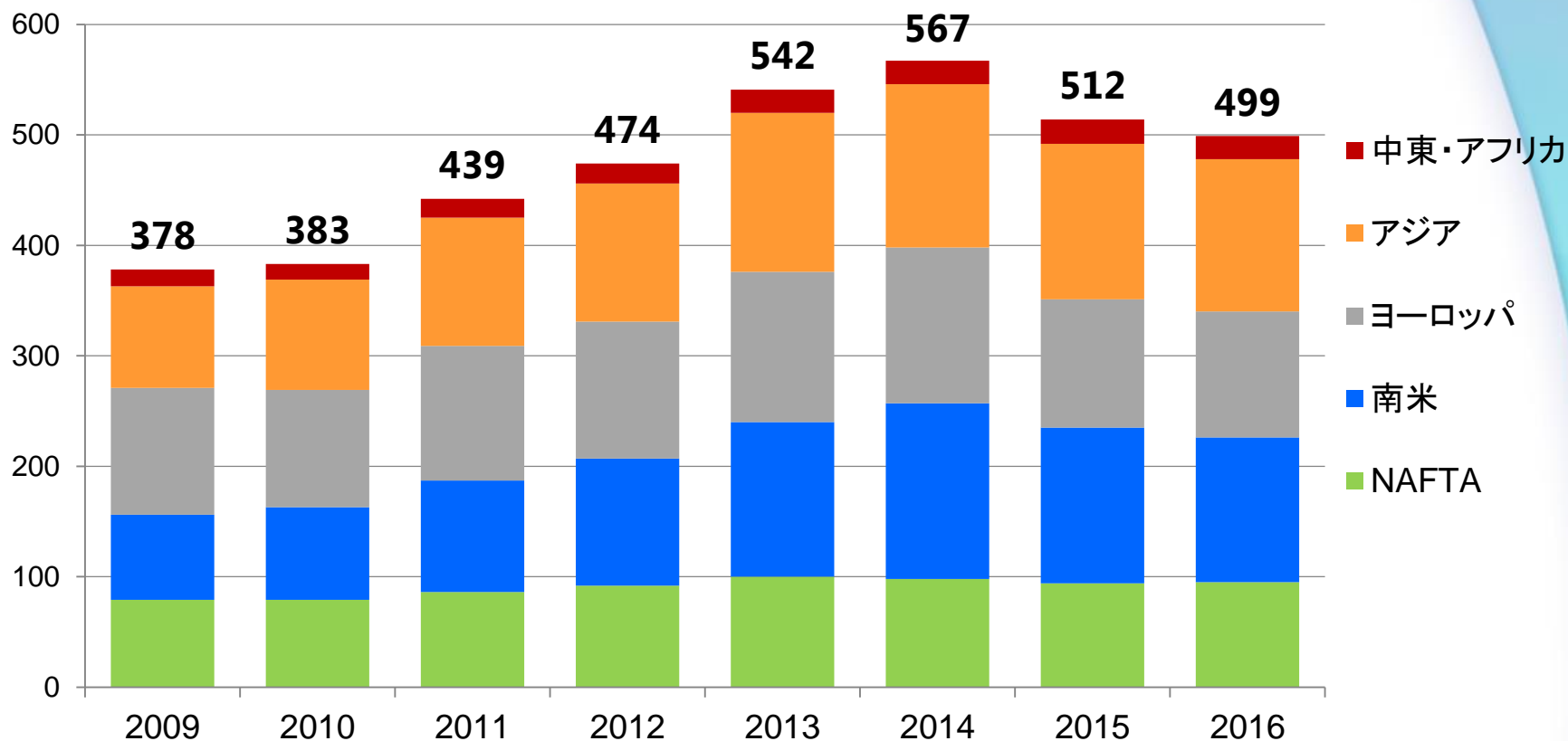
種子・バイテク製品を除く

出典 : Phillips McDougall

世界の農薬市場の動向

[億ドル]

新興国市場の需要拡大にシフト



種子・バイテク製品を除く

出典 : Phillips McDougall

I. 市場環境

II. 2017年10月期 第3四半期実績

III. 2017年10月期 業績予想

IV. 新中期経営計画

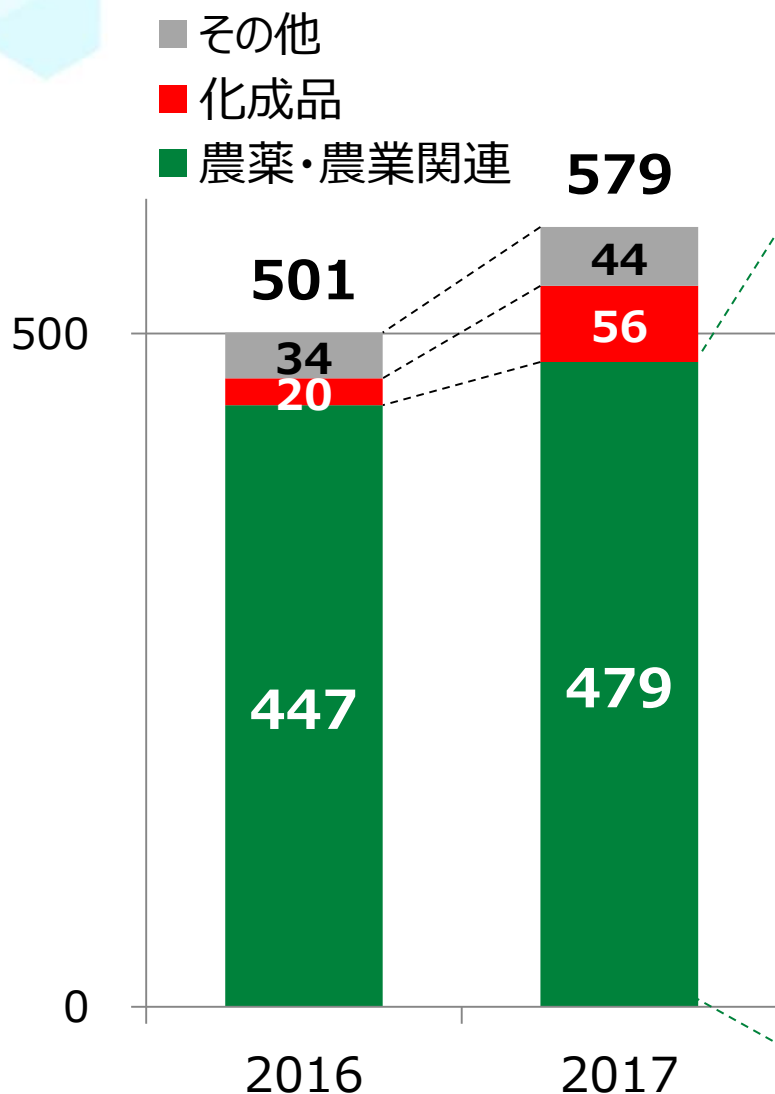
第3四半期連結業績(2017年10月期)

前年同期比

[億円]	2016 Q3実績	2017 Q3実績	増減額	増減率
売上高	501	579	78	+15.7%
営業利益	24	36	12	+50.2%
経常利益	39	64	25	+66.1%
四半期 純利益*	27	68	40	+145.6%

*親会社株主に帰属する四半期純利益

第3四半期 セグメント別売上高比率



農薬・農業関連剤 ↑

国内向け

水稻用除草剤 ↓

- ・フェノキサスルホン剤 ↑
- ・上記剤とピリミスルファンの混合剤 ↑
- ・トップガン剤 ↓

水稻用箱処理剤 →

- ・サイアジピル剤等混合剤 ↑
- ・既存剤 ↓

園芸用殺菌剤 ↑

- ・ファンタジスタ剤 ↑

園芸用殺虫剤 ↑

- ・スプラサイド剤 ↑

芝用除草剤 ↑

海外向け

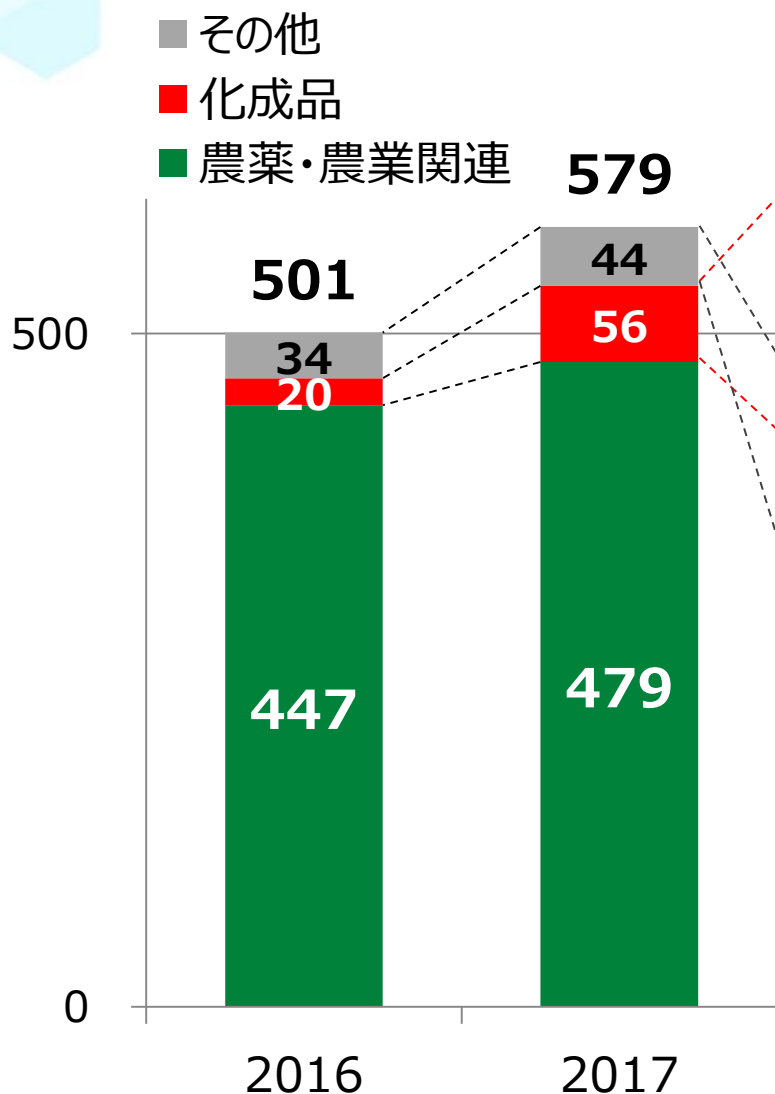
畑作用除草剤 ↓

- ・アクシーブ剤 ↓

水稻用除草剤 ↓

- ・ノミニー ↓

第3四半期 セグメント別売上高比率



化粧品 ↑

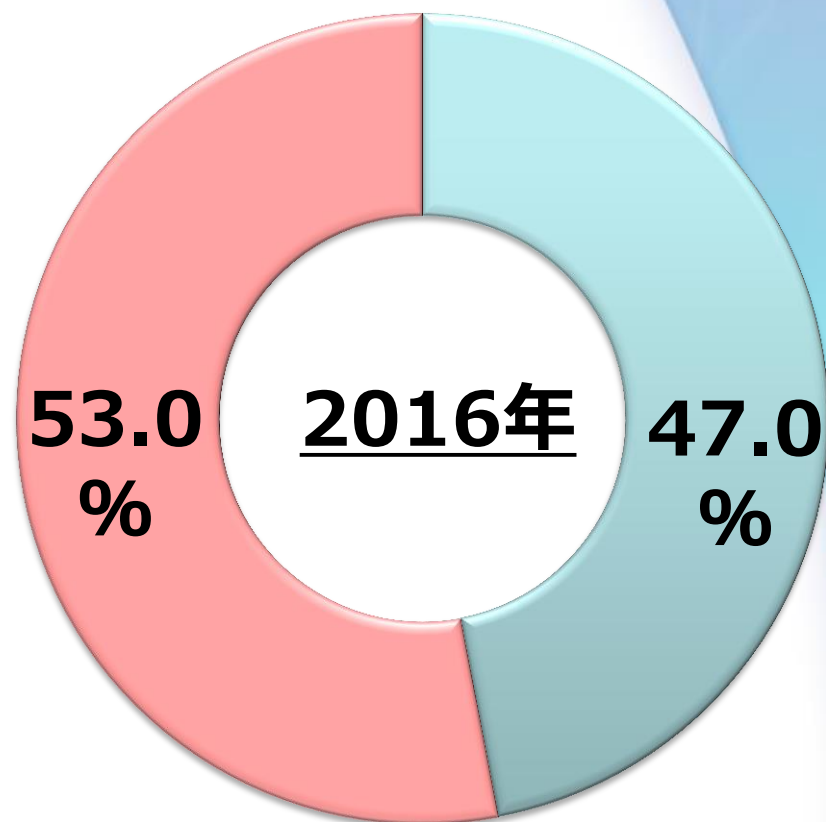
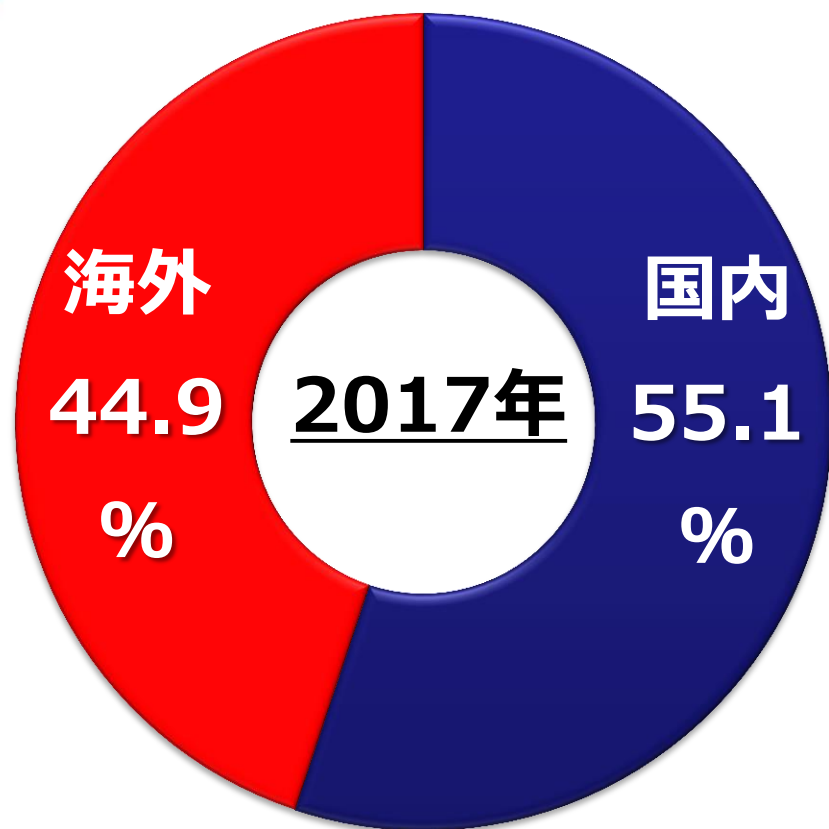
合併により加わったイハラ建成、イハラケミカル連結子会社からの継承による増

イハラ建成工業（発砲スチロール） ↑
 イハラニッケイ化学工業（トルエン・キシレン誘導体） ↑

その他 ↑

賃貸事業 →
 売電収入 ↑
 印刷 ↑
 物流 ↑

第3四半期 国内外別売上高比率

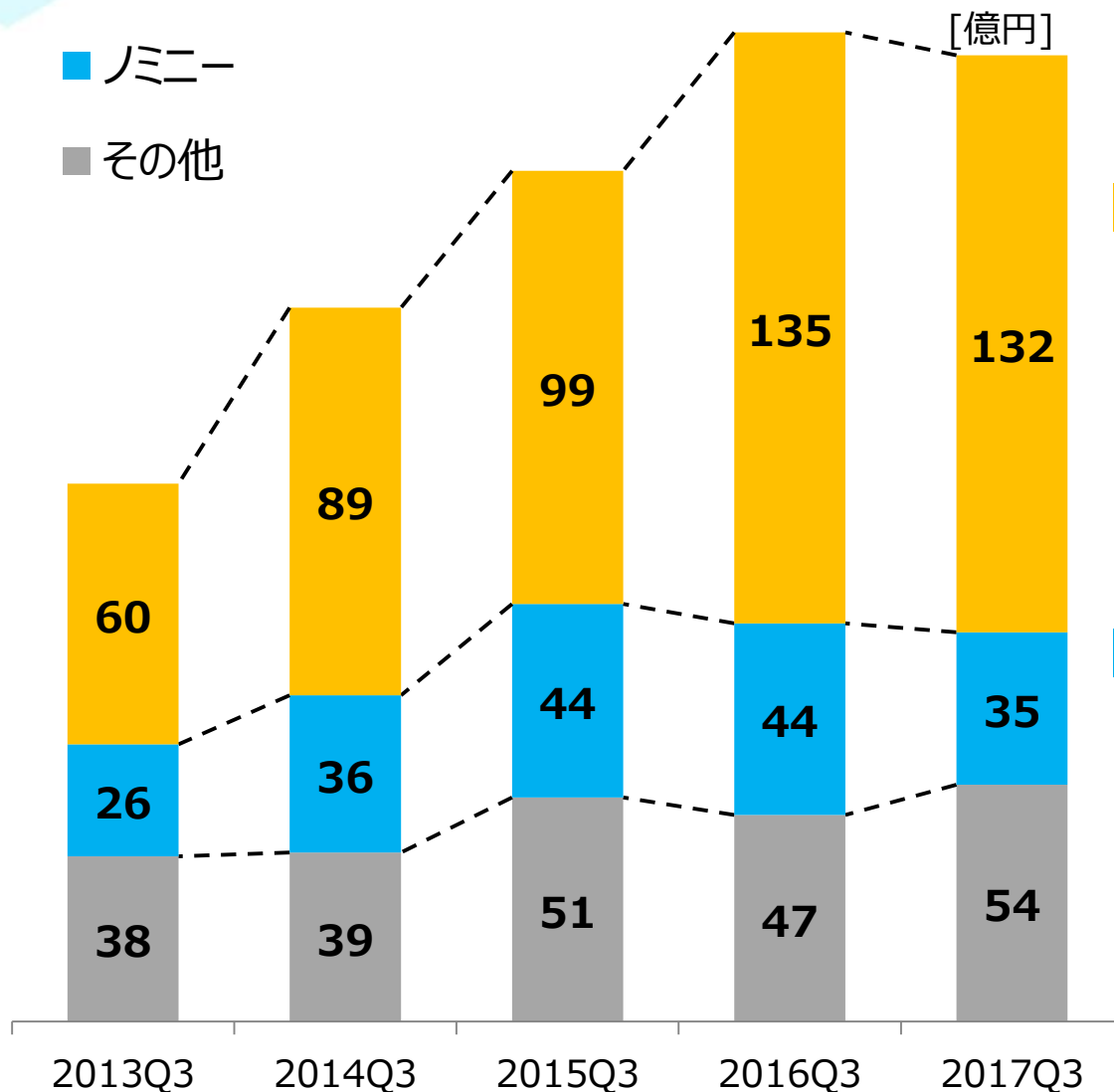


第3四半期 原体別海外売上高(個別)

■ アクシーブ

■ ノミニー

■ その他



■ **アクシーブ**

(畑作用除草剤)
前年比-3億円
(-2.3%)

■ **ノミニー**

(水稲用除草剤)
前年比-9億円
(-20.6%)

I. 市場環境

II. 2017年10月期 第3四半期実績

III. 2017年10月期 業績予想

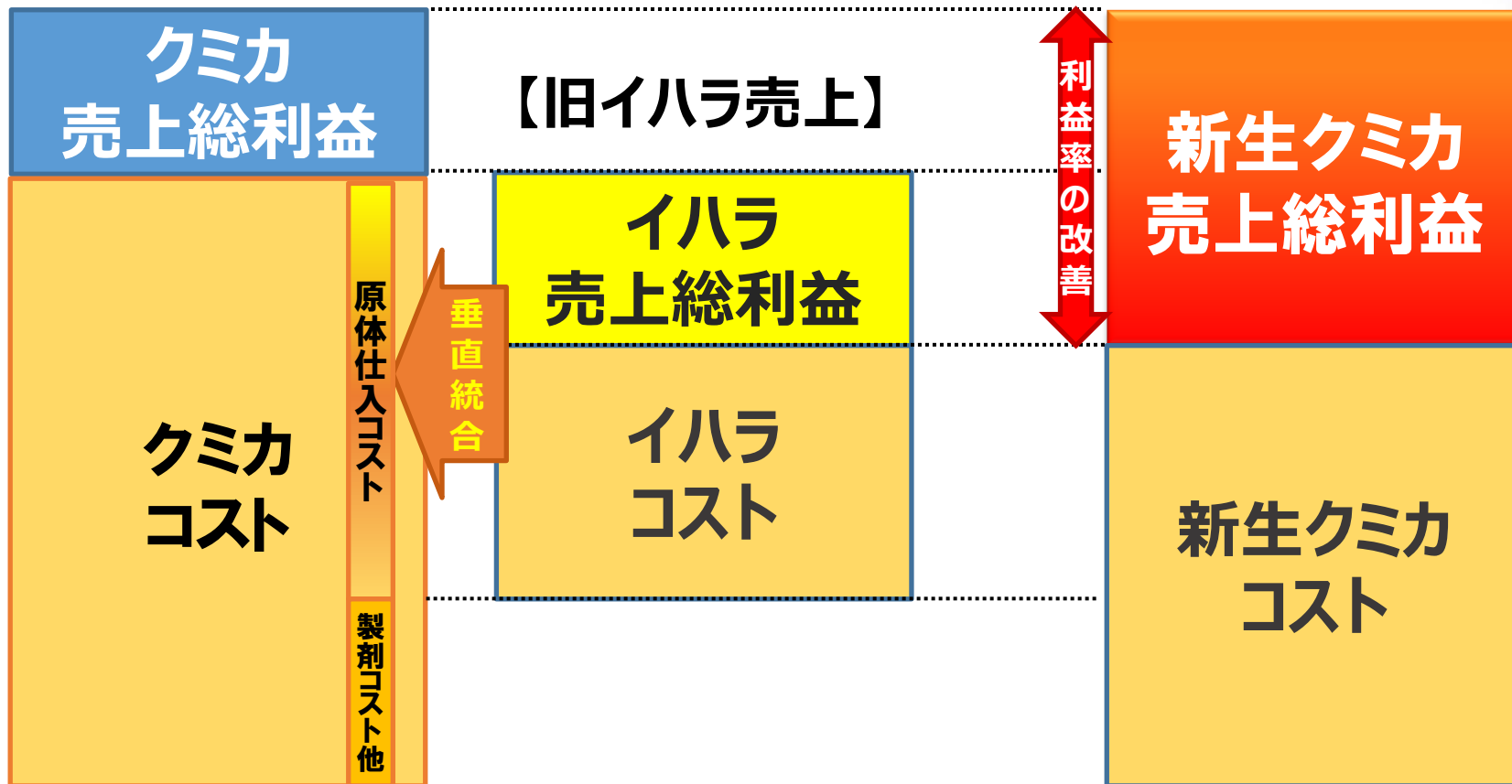
IV. 新中期経営計画

新生クミカの損益構造

【旧クミカ売上】

農薬

【新生クミカ売上】



今期業績の決算について

上半期（～2Q） 下半期（～4Q）

【旧イハラ売上】



合併

上半期（～2Q） 下半期（～4Q）

【新生クミカ売上】



合併

旧イハラの上半期に積み上げた資産は、新生クミカの資産に取り込まれます。

連結業績予想(2017年10月期末)

[億円]	2016 期末実績	2017 期末予想	増減額	増減率
売上高	625	835	210	+33.5%
営業利益	23	33	10	+45.6%
経常利益	45	58	13	+29.5%
四半期 純利益*	34	59	25	+72.4%

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結特別損益の見込(のれん等)

単位:百万円

負ののれん発生益 (イハラケミカル・理研グリーン)	2,813
段階取得に係る差損	841
損益合計	1,972

I. 市場環境

II. 2017年10月期 第3四半期実績

III. 2017年10月期 業績予想

IV. 新中期経営計画

新中期経営計画

基本方針

**合併によるシナジー効果を早期に発現し、
農業生産の課題を解決する研究開発型
企業を中核とする“将来にわたって持続的
に発展できる強い企業集団”を目指す。**



持続的に発展できる強い企業集団を目指して

Speed
Cost
Innovation

プロセスの**一体化**による
事業基盤の**強化**

成長戦略

農薬事業プロセスの一体化

<p>研究開発</p>	<p>候補化合物選定 生物評価 製剤化検討 プロセス検討</p>		
<p>原体製造</p>	<p>安全 安価 安定生産</p>		
<p>製剤製造</p>			
<p>販売</p>	<p>国内販売ルート 海外販売提携 ルート</p>		



**技術革新のスピード
アップ**



**安全操業による安定
供給体制の確立**

**効率的なサプライ
チェーンの確立**



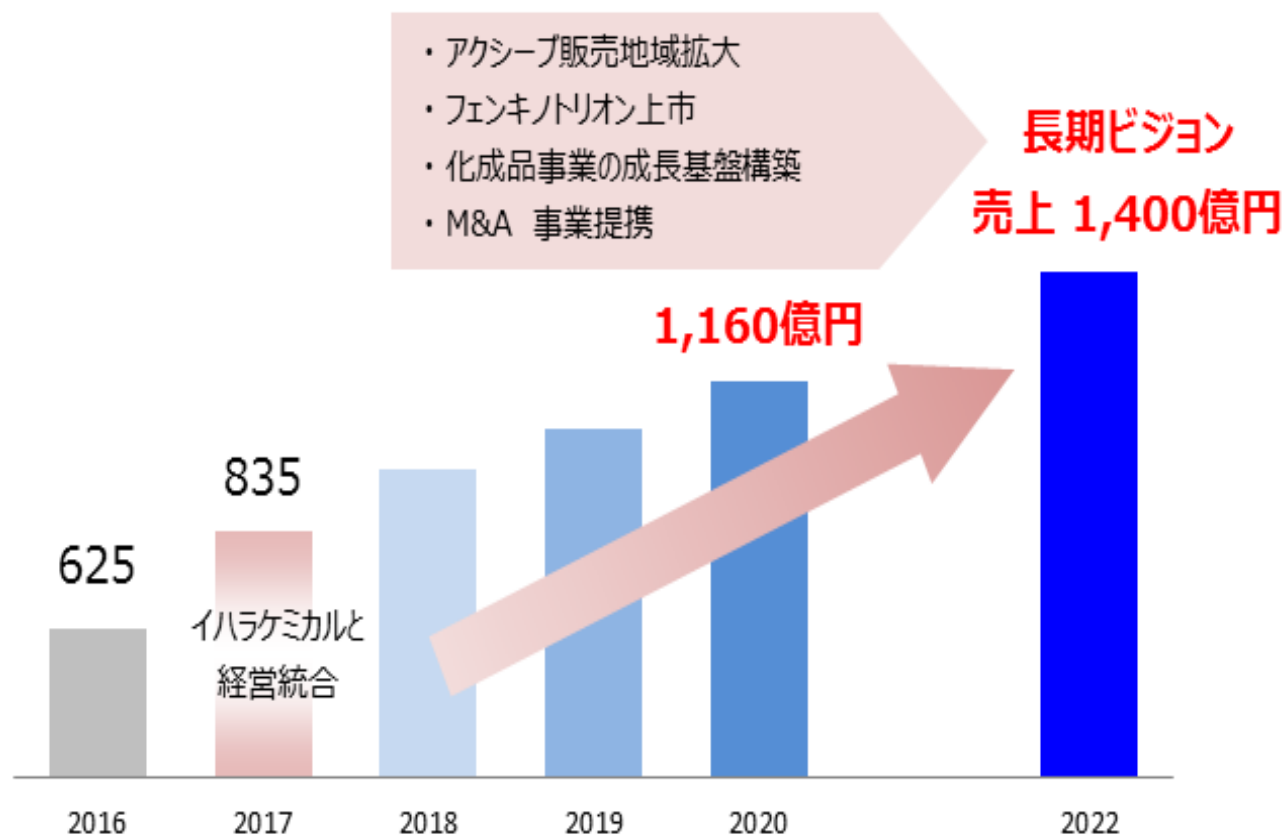
**国内販売ルートの充実
海外販売網の拡充**

新中期経営計画

3年後の目標

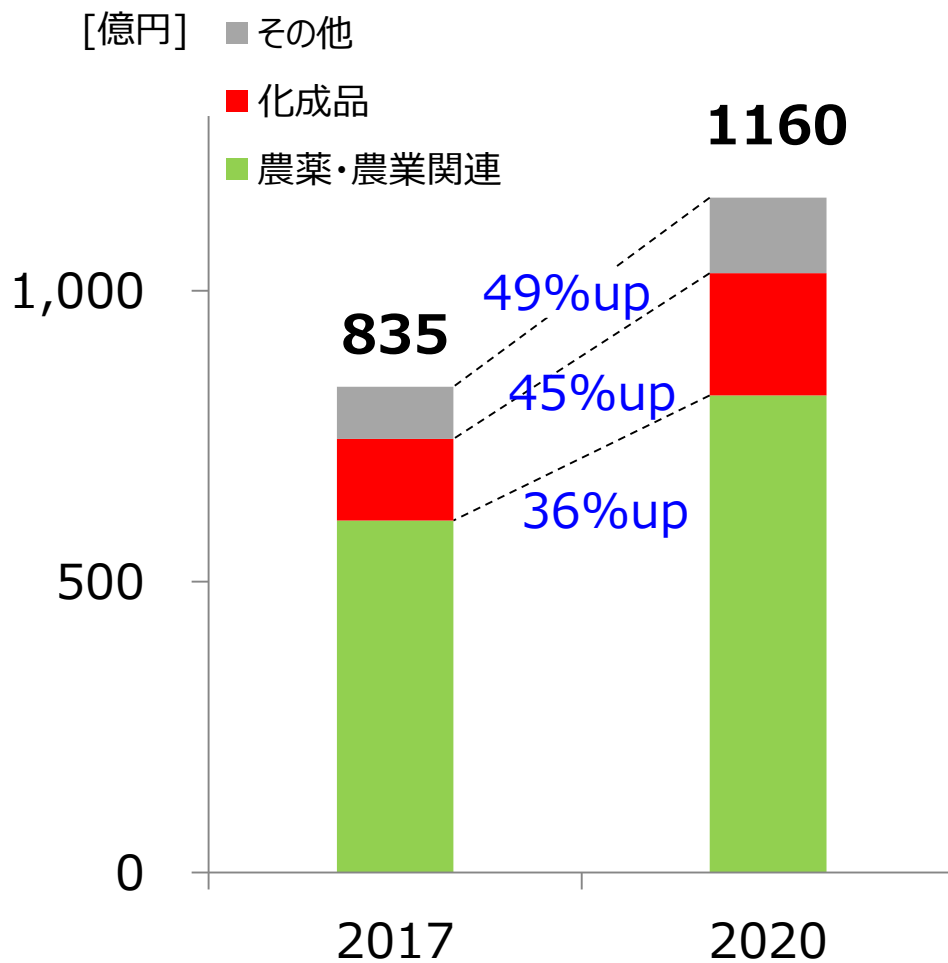
売上高1,160億円 営業利益90億円 ROE 7.5%以上

2018 中期経営計画 - Create the Future 未来を拓く -

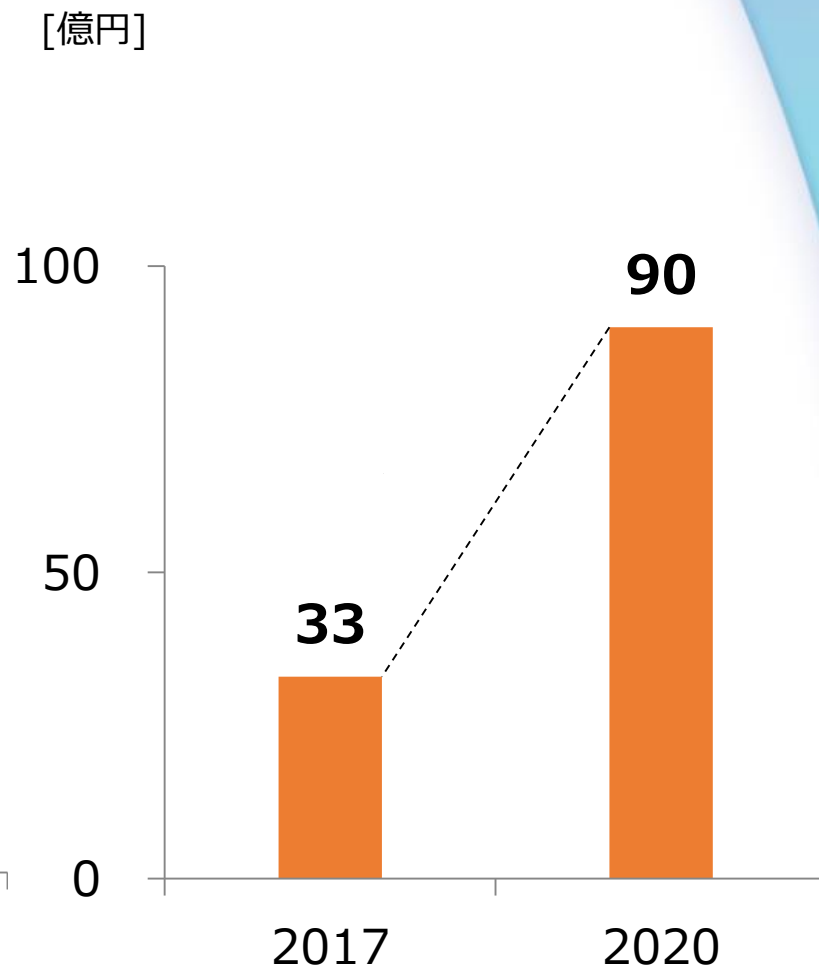


新中期経営計画

売上高(セグメント別対比)



営業利益



持続的に発展できる強い企業集団を目指して

Speed
Cost
Innovation

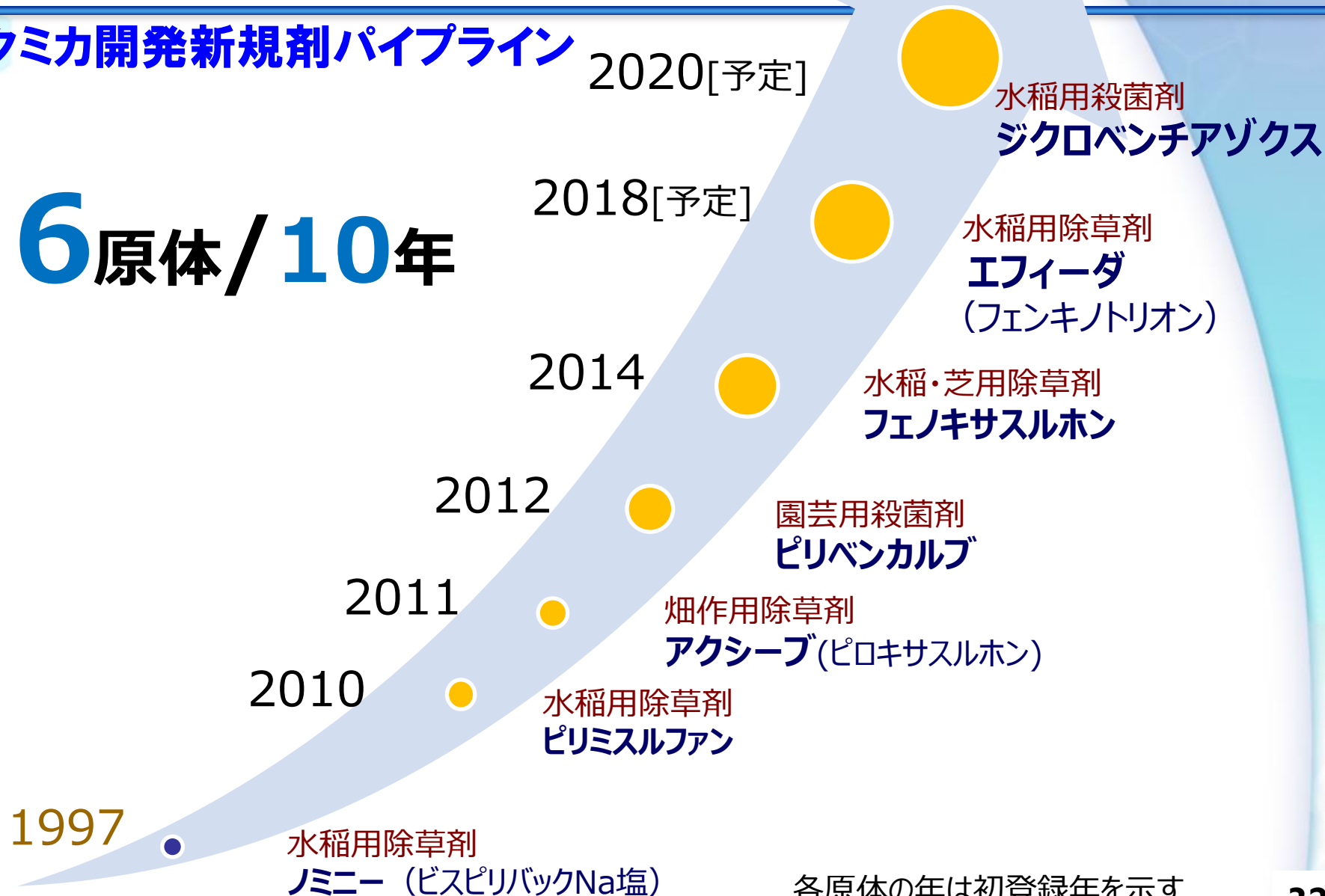
プロセスの**一体化**による
事業基盤の**強化**

成長戦略

成長戦略

クミカ開発新規剤パイプライン

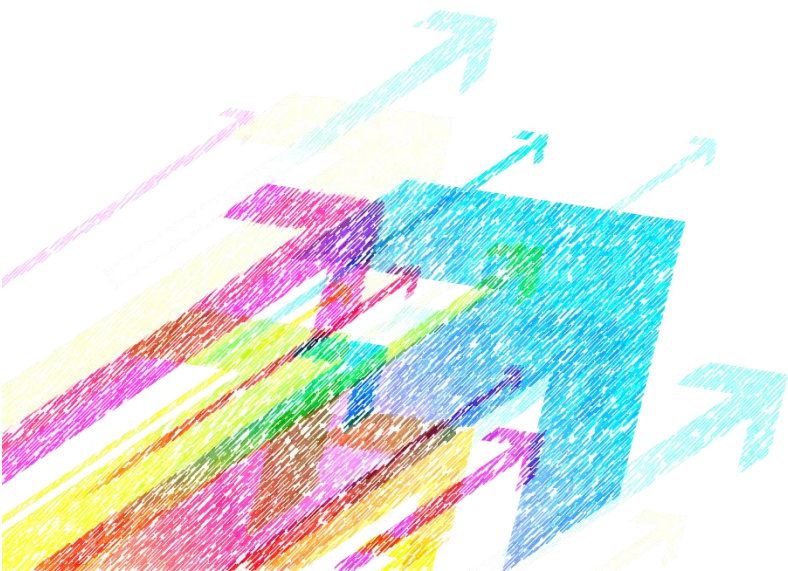
6原体 / 10年



各原体の年は初登録年を示す

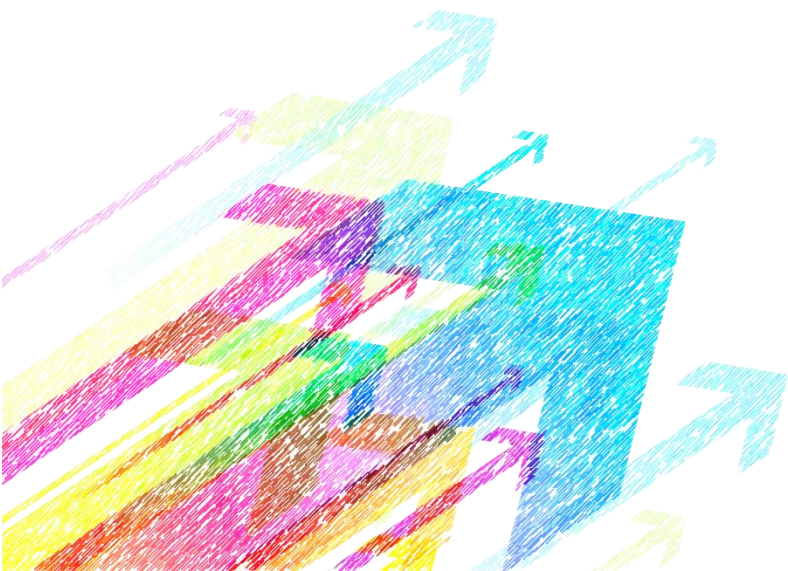
成長戦略

- 1.ノミニー剤(インドJV設立)
- 2.アクシーブ剤(グローバル展開への加速)
- 3.エフィーダ剤(開発中)

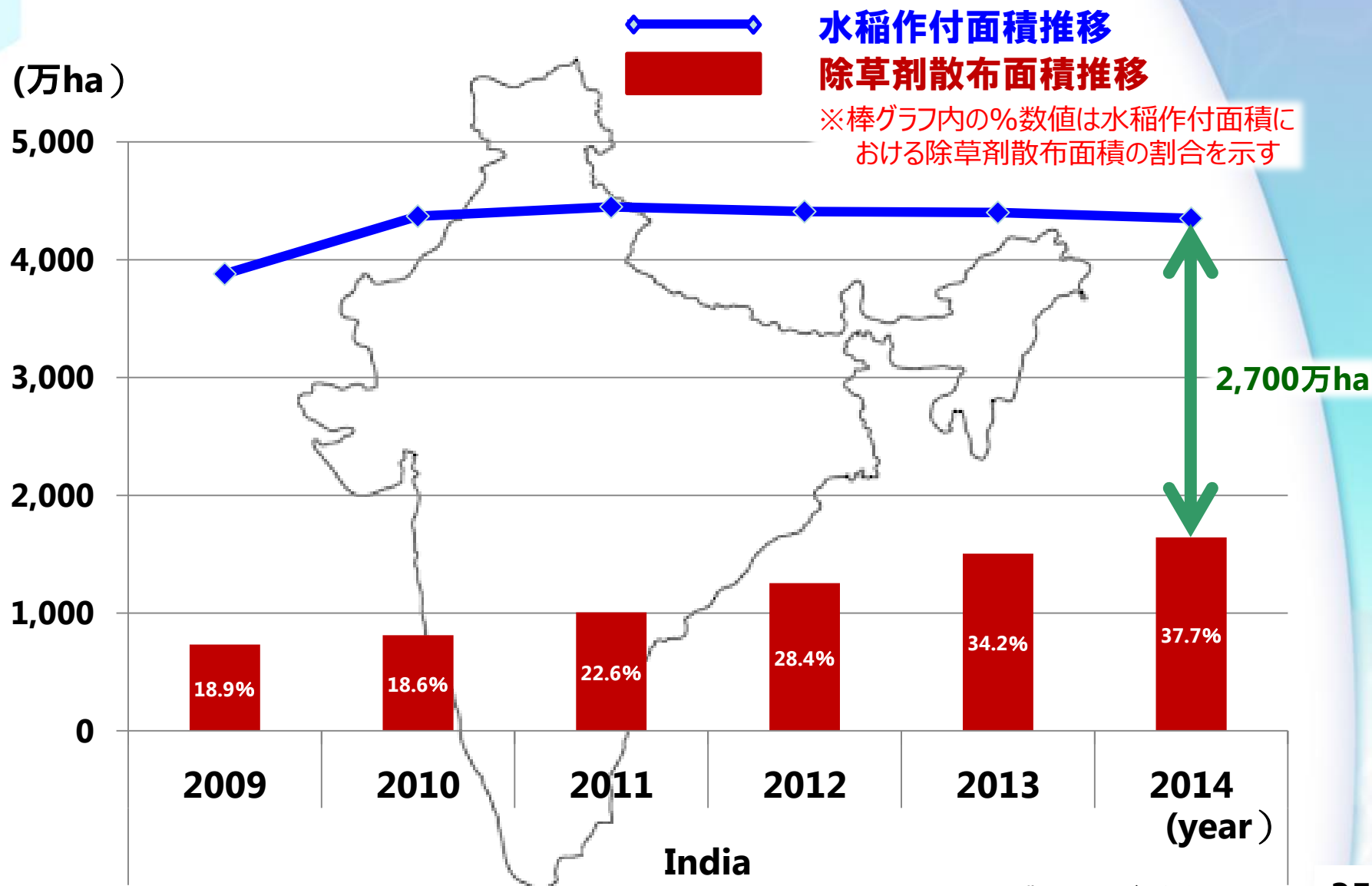


成長戦略

- 1.ノミニー剤(インドJV設立)
- 2.アクシーブ剤(グローバル展開への加速)
- 3.エフィーダ剤(開発中)



インドにおける市場ポテンシャル



インドへの展開

契約調印式の様子



経営判断のスピードアップ

左:当社 代表取締役 小池 好智
右:PI社 Managing Director &CEO Mayank Singhal

インドへの展開

・合併会社設立

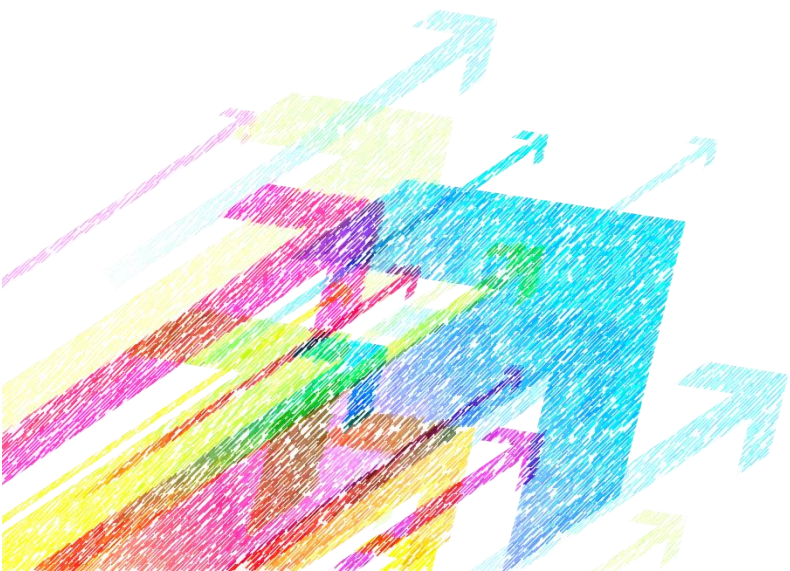
商号	PI Kumiai Private Ltd.
事業内容	インドでのノミニー製造・販売
資本金	3百万米ドル相当
出資比率	クミアイ化学50% : PI社50%
合併契約締結	2017年6月22日
本社所在地	ハリヤナ州グルGRAM
販売開始時期	2018年度シーズン中

・設立目的

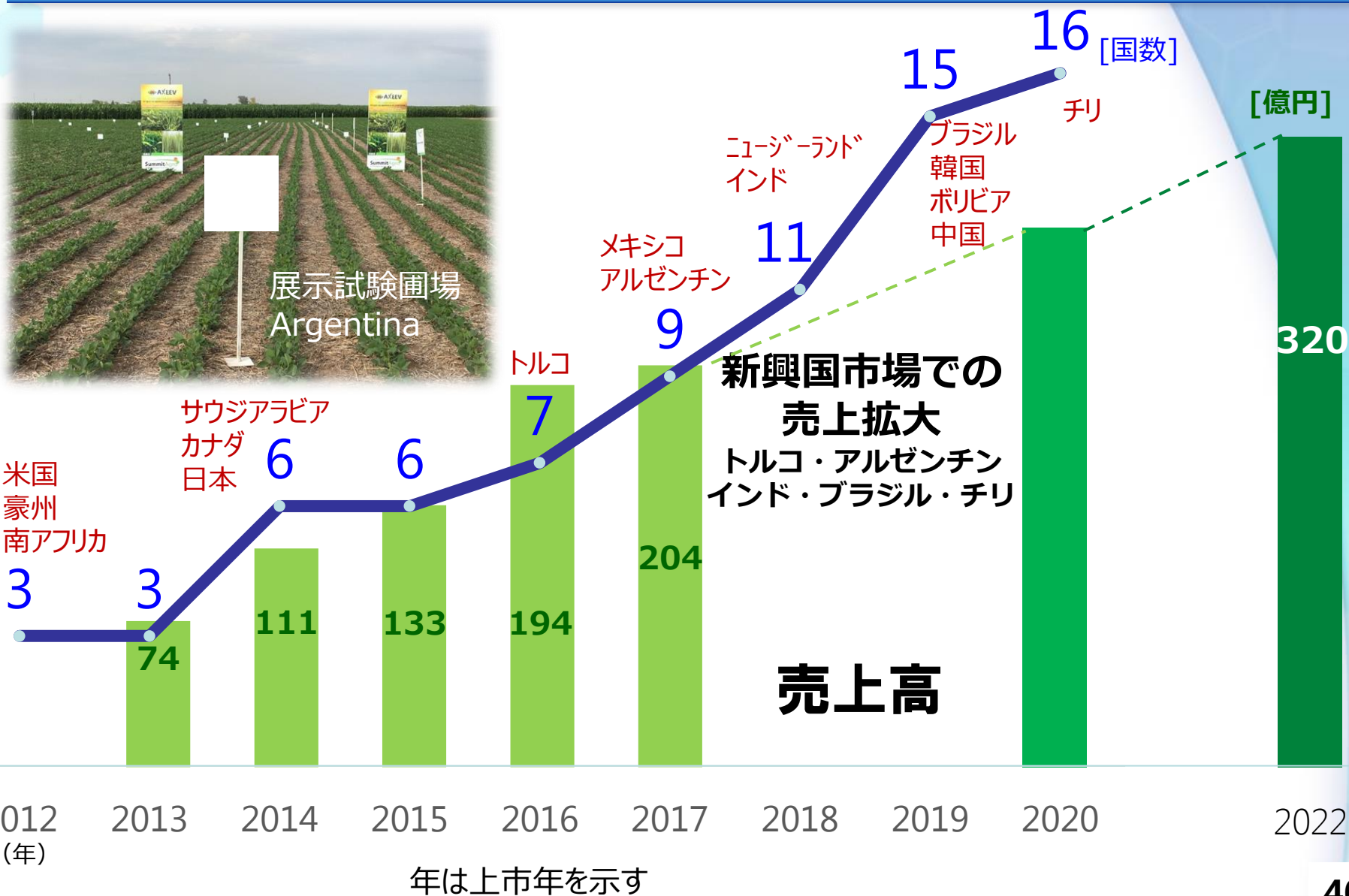
**インド稲作市場におけるノミニー拡大
ジェネリック対策
コスト競争力の強化**

成長戦略

- 1.ノミニー剤(インドJV設立)
- 2.アクシーブ剤(グローバル展開への加速)**
- 3.エフィーダ剤(開発中)



アクシーブ上市国数(計画) グローバル展開の加速に向けて



アルゼンチン市場の有望性

対象作物：大豆

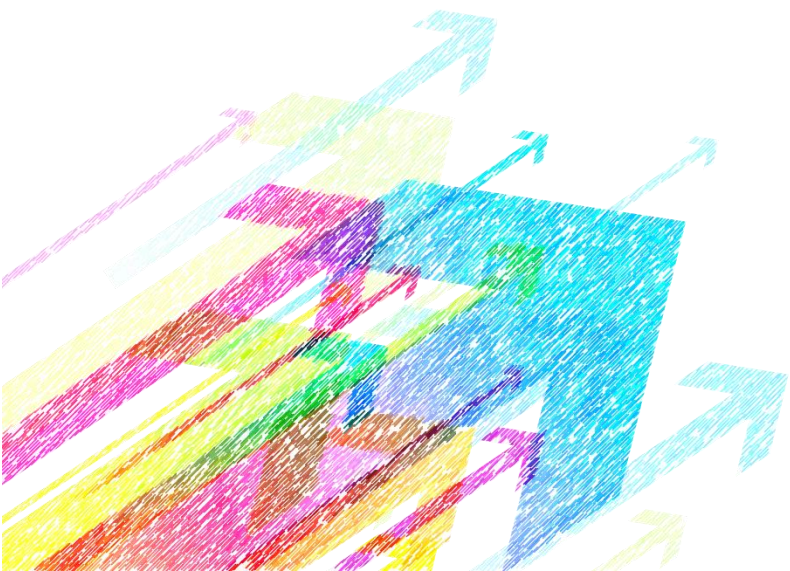
作付面積：2,000万ha

状況：GMO品種作付9割超
抵抗性雑草の繁茂が甚大

アクシーブは抵抗性雑草に卓越した効果

成長戦略

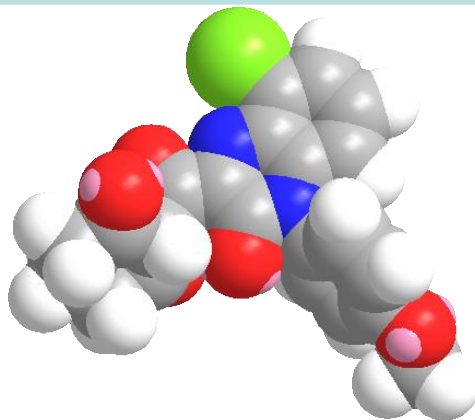
- 1.ノミニー剤(インドJV設立)
- 2.アクシーブ剤(グローバル展開への加速)
- 3.エフィーダ剤(開発中)



エフィーダ剤(フェンキノトリオン)の特長

エフィーダ剤

- 水稲 広葉雑草およびカヤツリグサ科雑草防除剤
- 今後も対策が必要なSU抵抗性雑草に対応
- 水稲に対する高い安全性から田植同時処理や直播水稲栽培に 対応可能で、**農業経営の規模拡大**や**農業生産コスト削減**に貢献
- **飼料用稲品種に使用**でき、飼料生産および食料自給率の向上に貢献



- 化学名 : 2-[8-chloro-3,4-dihydro-4-(4-methoxyphenyl)-3-oxoquinoxalin-2-ylcarbonyl]cyclohexane-1,3-dione (IUPAC)
- 一般名 : フェンキノトリオン : fenquino-trione (ISO 1750, provisionally approved)
- 開発コード : KIH-3653

エフィーダ剤の性能



エフィーダ混合剤
(ノビエ3葉期処理)

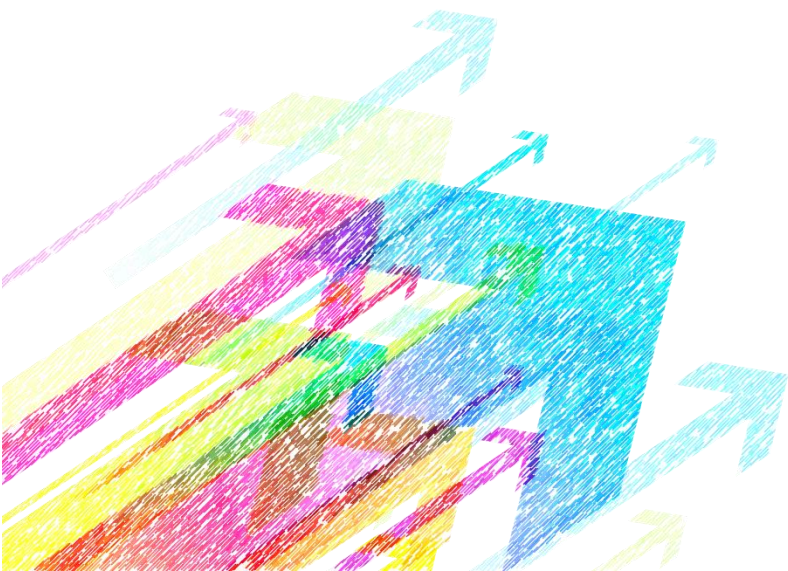


無処理

2015年 試験地: 山口県 (砂壤土) 移植後47日の様子

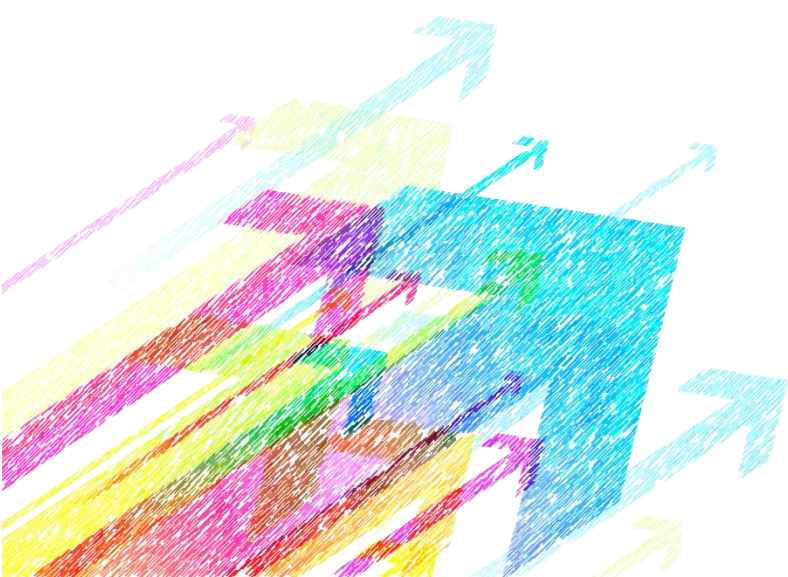
更なる成長に向けた取組み

1. 国内エリア戦略
2. 研究開発体制の強化
3. ファインケミカルの強化



更なる成長に向けた取組み

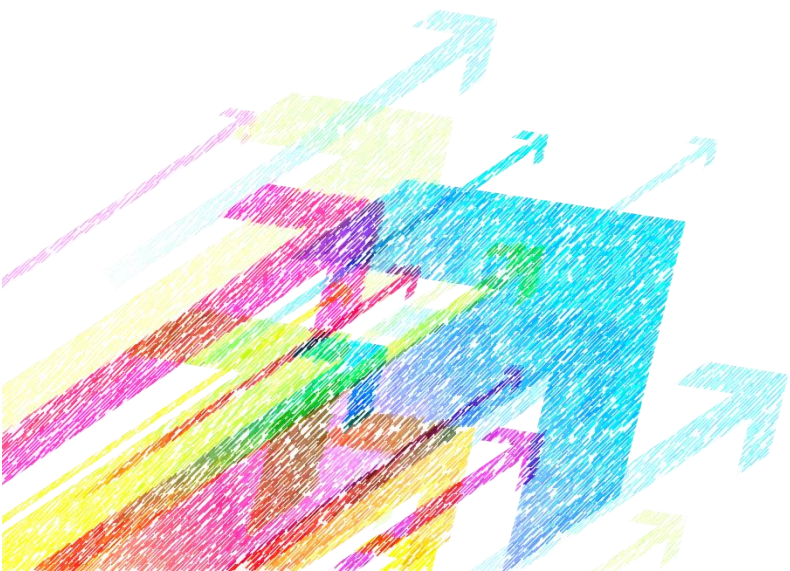
1. 国内エリア戦略
2. 研究開発体制の強化
3. ファインケミカルの強化



本章の内容資料は、説明会場の上映スライドのみ開示しております

更なる成長に向けた取組み

1. 国内エリア戦略
- 2. 研究開発の強化**
3. ファインケミカルの強化



更なる成長に向けた取組み

農薬事業

継続的な原体開発力

- 水稲用除草剤を中心にこれまで**17原体**を開発・上市

独自性の高い製品（オンリーワン技術品目）

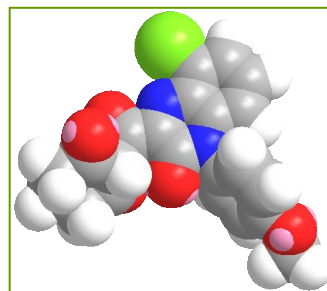
- 独自省力化製剤 **豆つぶ剤**
- 飼料米に安全な除草剤**エフィーダ剤**(開発中)
- 微生物農薬 **エコ・クリーンシリーズ**



豆つぶ剤



エフィーダ剤



エコシリーズ



クリーンシリーズ

更なる成長に向けた取組み

スマート農業への取組み

ドローンによる自動農薬散布
への利用



作業省力化
高効率化



動画

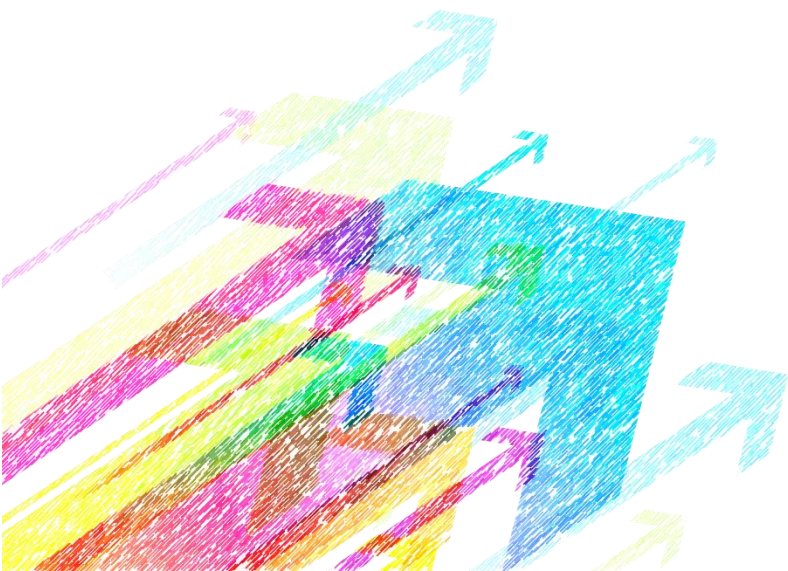
ナイルワークス社との業務提携による新しい農業スタイルの提案を推進

エンルート社との開発によるドローンと豆つぶ剤散布機の認定取得

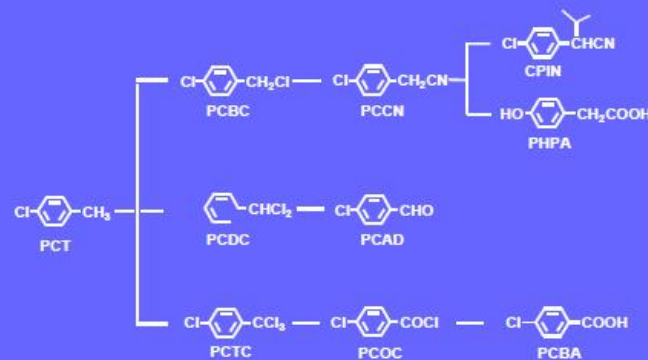
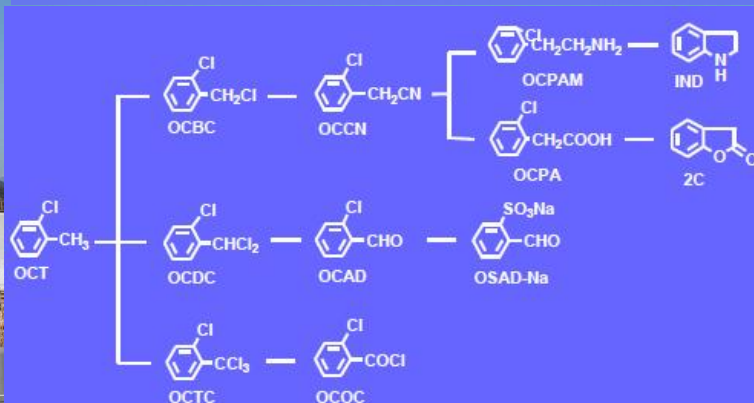
ドローン + 豆つぶ剤 : 薬剤搭載量の限られたドローンに
散布量軽減効果の高い豆つぶ剤
の組合せ

更なる成長に向けた取組み

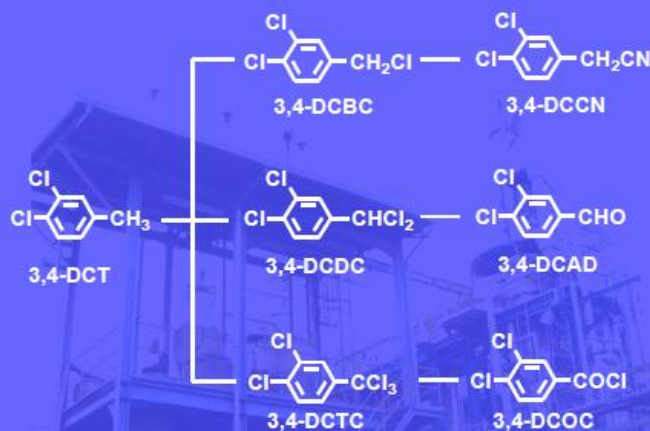
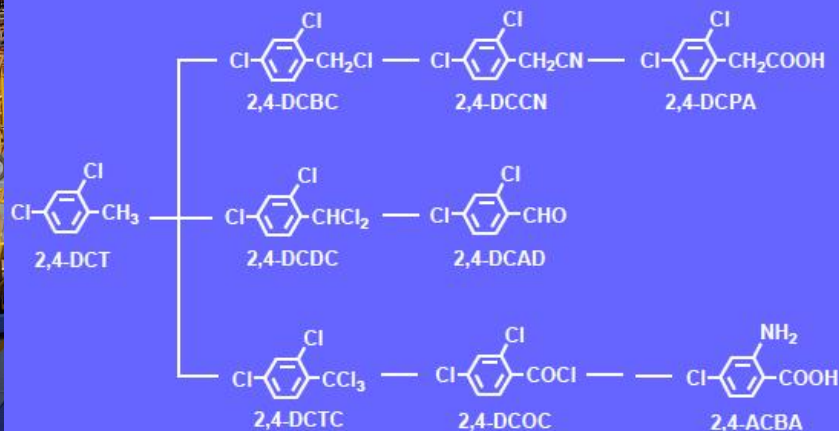
1. 国内エリア戦略
2. 研究開発体制の強化
3. **ファインケミカルの強化**



ファインケミカルのパイオニア



塩素化誘導体

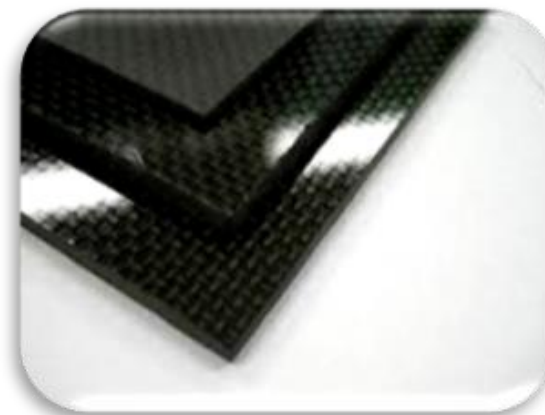


ファインケミカルのパイオニア

精密化学品分野

国内トップシェアを誇る電子材料向けや高耐熱樹脂向けのビスマレイミド類など

炭素繊維複合材料の耐熱性向上樹脂原料



積層板



ファインケミカルのパイオニア

ウレタン硬化剤分野 MBOCA販売で世界トップシェア

機械部品・
高速道路防水材等



産業薬品分野

製紙薬品、衛生薬品、**防腐防カビ剤**、防菌剤
用基剤、**漁網防汚剤**・**船底塗料**等

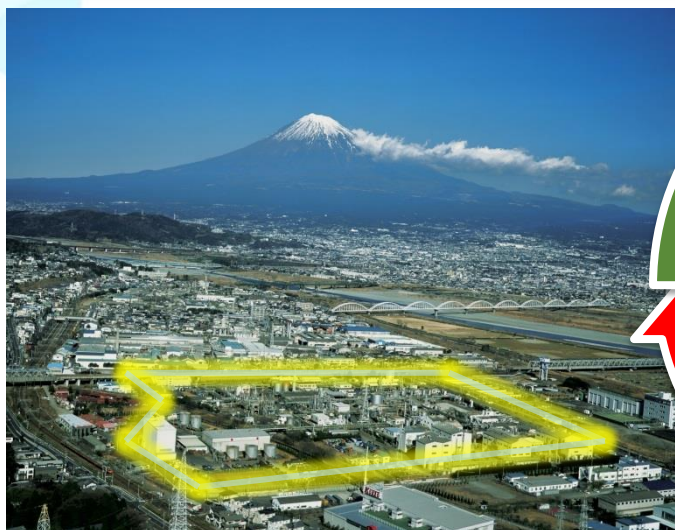
防腐防カビ剤

使い捨てタオル
の除菌成分

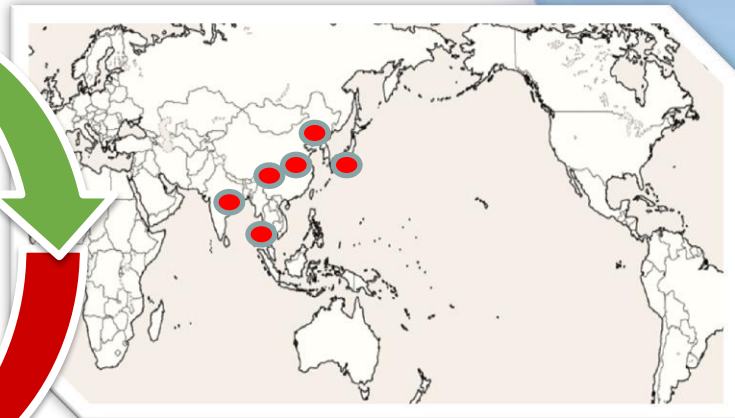
温泉、浴場の消毒



調達体制



当社静岡工場



国内・海外調達ネットワーク



上海群力有限公司

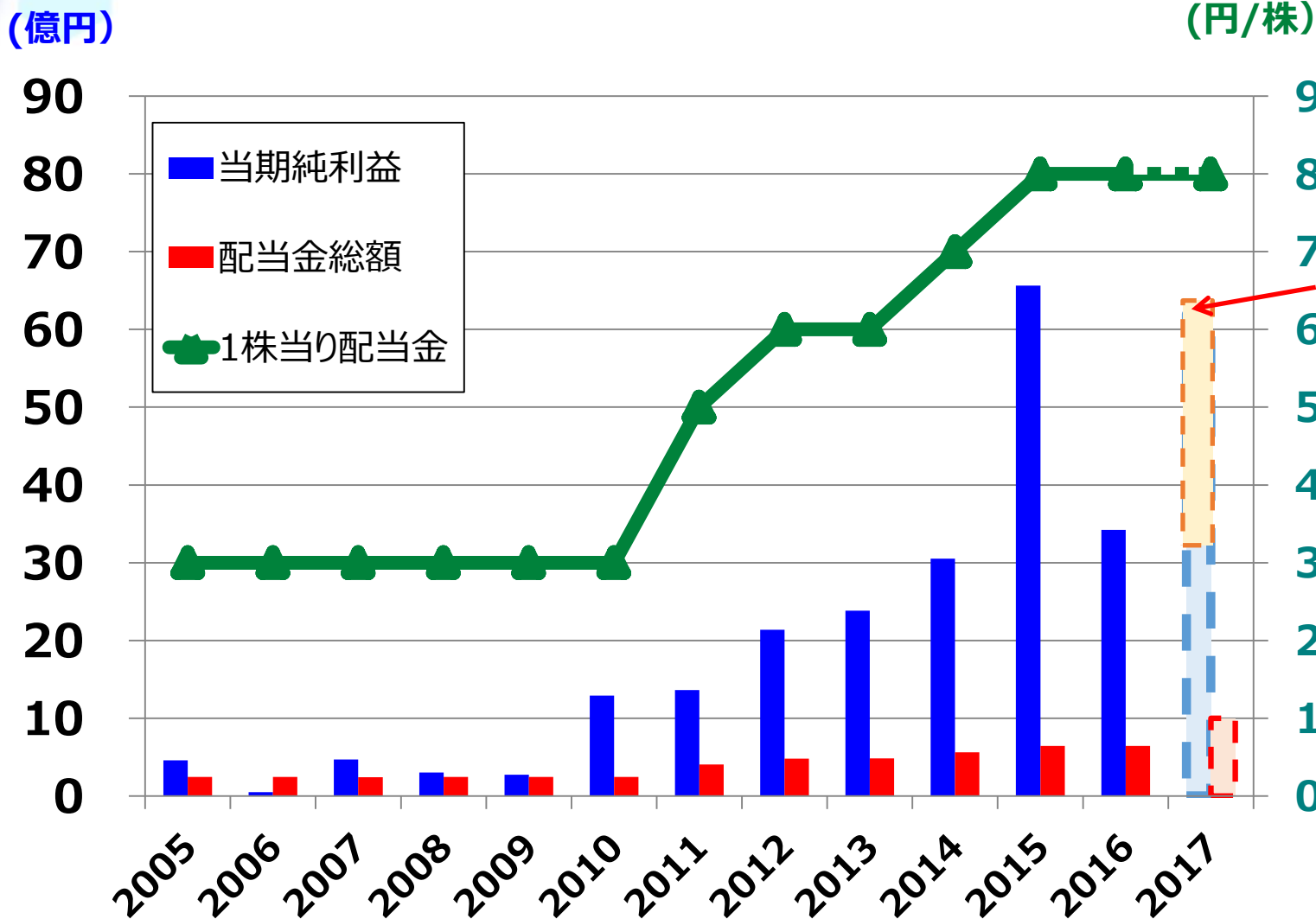
調達体制 の最適化

- コスト低減
- 為替リスク低減
- 安定調達
- 高品質
- 海外市場アクセス強化



イハラニッケイタイランド
2018年夏～

株主還元施策(連結)



負ののれん発生
 益に伴う純利益
 増加分

CSR活動

どんぐりプロジェクト®参加
 【宮城県における海岸林再生活動】
 どんぐりプロジェクト®は東京ガス(株)の登録商標です



写真の棚田は、クミアイ化学工業が賛助会員として支援する静岡県掛川市のせんがまち棚田です。

いのちと自然を守り育てること
 私たちの変わらぬ永遠のテーマです。

クミアイ化学工業は、「いのちと自然を守り育てる」のテーマのもと、
 地球規模の問題である「食料の確保」および「環境の保全」に
 貢献できる企業を目指して、日々挑戦をしております。
 安心・安全な農業生産に資し、豊かな自然環境を未来の世代に残すため、
 私たちは行動しております。

代表取締役社長 小池好智



クミアイ化学工業株式会社
 本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 03-3822-9036 <http://www.kumiai-chem.co.jp>



北海道森林保護活動

せんがまち棚田保全活動

学生懸賞論文



第6回 学生懸賞論文募集

テーマ
日本の農業の未来
 魅力ある農業の創造

最優秀賞 50万円 優秀賞 20万円

募集期間 **6/17-10/31**

クミアイ化学

働き方改革への取り組み

ワークライフバランスの実現に向け

- ・適切な労働時間の管理
- ・総労働時間の削減

(ノー残業デー・年間所定労働時間の削減、長時間残業の抑止等)



ダイバーシティの推進



女性、障害者、高齢者、外国籍就労者の活躍推進

ご清聴ありがとうございました。



自然に学び 自然を守る



ワミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 総務部

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

E-Mail: soumu@kumiai-chem.co.jp

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>